

富山大学研究推進機構極東地域研究センター 一橋大学経済研究所ロシア研究センター 合同研究会

2020年6月26日 金曜日 13:30-15:30

富山国際会議場 205会議室

先着事前参加登録制(定員10名):定員になり次第締切(6/25申込締切)

中国武漢を起点として新型コロナウイルスは、隣国の経済や社会に多大な影響を与えています。その影響は、企業行動を変え、日常の人の行動を変え、私たちのくらしを変えようとしています。隣国の中国やロシアの最新の情勢をもとに、これらの国々のポストCOVID-19の経済と社会を展望します。

講演

一橋大学経済研究所教授 岩崎一郎

コロナショックのロシア経済及び企業経営への影響を探る

富山大学研究推進機構極東地域研究センター教授 堀江典生

COVID-19が止めた人の移動と労働のロシア経済への影響を探る

富山大学研究推進機構極東地域研究センター准教授 馬欣欣

コロナショックと中国経済:社会保障問題に焦点を当てて

討論

京都大学経済研究所教授 溝端佐登史

参加申込先:富山大学研究推進機構極東地域研究センター

堀江典生 horie (at mark) eco.u-toyamaまでメールにてご連絡ください。

新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、本合同研究会は、中止する場合もあります。 JSPS科研費20H01489および18K18538、20H01512の助成を受けたものです。